

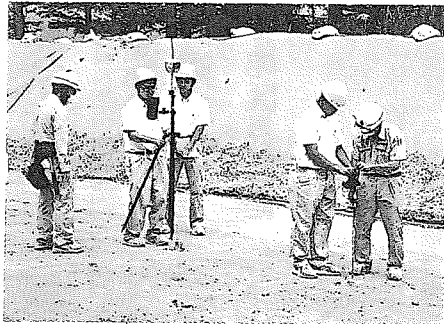
i-Con・建設DX現場見学会

## 自動化進む建設業紹介

### 平田建設 帯工高校生対象に

【帯広発】(株)平田建設(土  
嶌、長谷川雅毅社長)は24  
日、日立建機日本(株)協力の  
もと芽室町内で帯広工業高

校の生徒を対象としたi-Construction・建設DX現場見学会を開催した。参加した生徒たちは3DMCバックホーの操縦やGNSS測量などの体験を通して、自動化・機械化が進む建設業を体感。熱心に説明を聞き、今後の進路選択の参考にした。



説明を受けながら  
測量を体験する生  
徒

の。ことしは帯広工業高環  
境土木科の1〜3年生全員  
を対象とし、合計113人  
が参加した。

今回は、帯広開建発注「芽  
室川西地区帯広かわにし導  
水路伏美23線上流工区」  
「芽室川西地区東美栄幹線  
用水路18号工区」の2現場  
を対象に開催した。

芽室町内の新風山荘で  
行った開催式で、長谷川社  
長は「建設業は」担い手  
不足などで厳しい状況にあ  
るが、その中でICTやD  
Xは大事なものであり、働  
き方改革や生産性向上を図  
ることができる」と

し「建設業ではこう  
いうことをやっている  
のだと学び、これ  
からの就職活動の一  
助にしてほしい」と  
期待を寄せた。

引き続き、帯広開

建帯広農業事務所第1工事  
課の立石信次課長がかんが  
いや芽室川西地区の概要を  
解説した。

同校卒業生で、ことし平  
田建設に入社した土木部の  
田中暖人さんは「見学会が  
今後の進路の参考になれ  
ば。まずは安全に気を付け  
て有意義な1日にしてほし  
い」と呼びかけた。

このあと、1年生は現場  
に移動。3DMCバック  
ホーやリモコン式バック  
ホー、GNSSや杭ナビを  
用いた測量などを順番に体  
験したほか、工事概要の説  
明などを受けた。

2・3年生に対しては、  
建設業が抱える課題などを  
踏まえたi-Constr  
uctionや建設DXに  
関する座学講習を実施。建  
設業の「今」を伝えた上で  
現場に移動し、自動化・機  
械化が進む建設業を体験さ  
せた。